

学都松本推進事業 第15回「学都松本・教育100年を語る会」

学都松本のこれからの100年をみんなで考えるため

これまでの歴史と現在^{いま}を一緒に考えましょう

「松本高等学校が 地域にもたらしたものは？」

お話：松本市立博物館学芸員 本間 花梨さん

令和3年1月30日（土）

あがたの森文化会館

講堂1階 第一会議室

午後1時30～3時

松本高等学校（新名本校）

主催：学都松本推進協議会 お問い合わせ：教育政策課

電話：0263-33-3980 F A X：0263-33-3934

令和3年1月30日

松本高等学校が
地域にもたらしたものは？



本日のあらまし

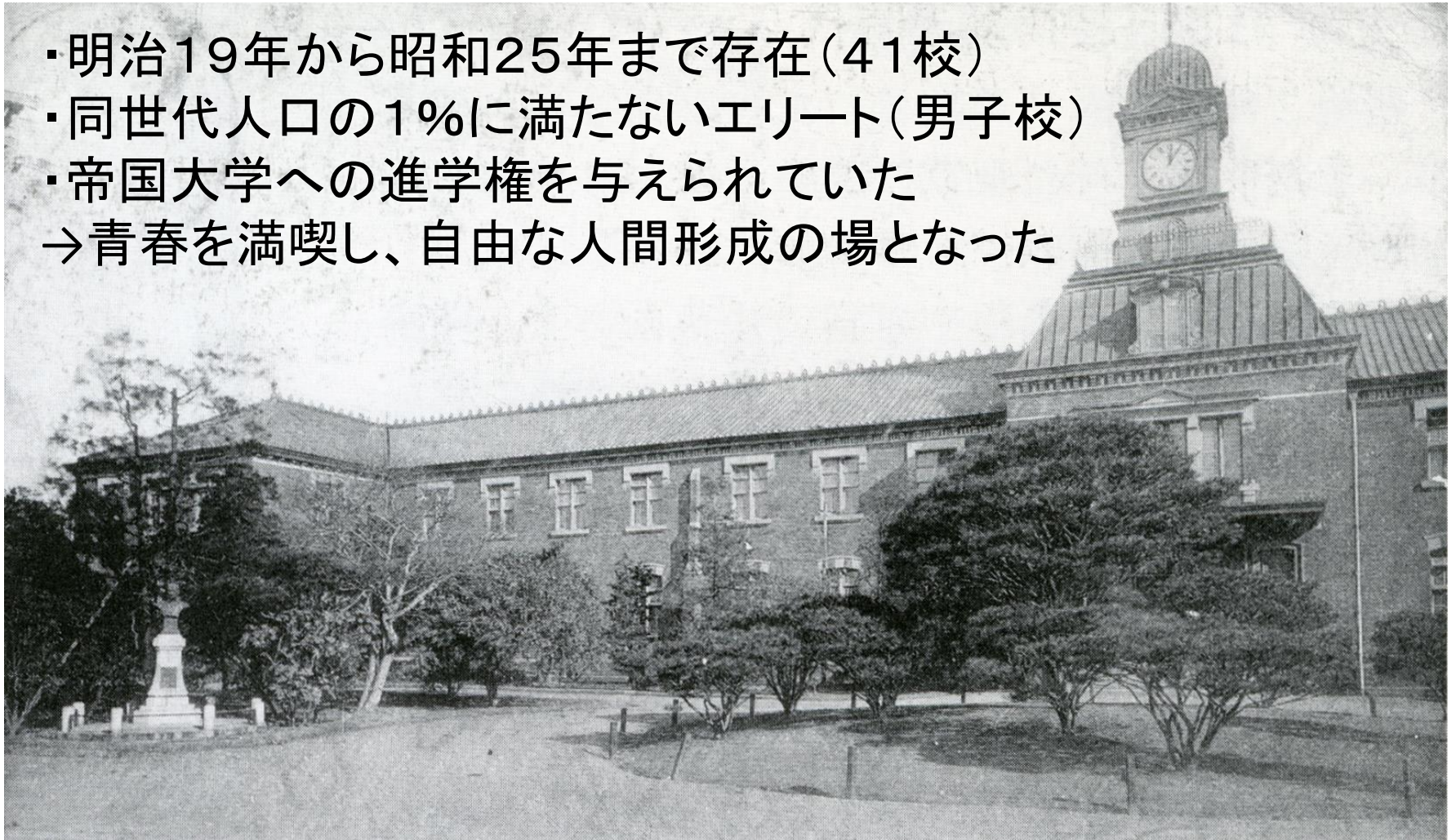
- 1 旧制高等学校とは
- 2 松本高等学校とは
- 3 松高生と町
- 4 松高が生んだ人材
- 5 おわりに

松本高等学校概要

- 大正8年 松本高等学校創立。
松本城二の丸にあった松本中学校(現:松本深志高等学校)の一部を仮校舎として開校。
- 大正9年 新校舎が現在のあがたの森の位置に落成。
- 大正11年 講堂・図書館落成。
- 昭和25年 松本高等学校閉校、信州大学へ。
- 昭和48年 校舎・講堂の保存運動が起こる。
- 昭和54年 あがたの森文化会館開館。
- 平成19年 校舎・講堂が国重要文化財に指定。

1 旧制高等学校とは

- ・明治19年から昭和25年まで存在(41校)
 - ・同世代人口の1%に満たないエリート(男子校)
 - ・帝国大学への進学権を与えられていた
- 青春を満喫し、自由な人間形成の場となった

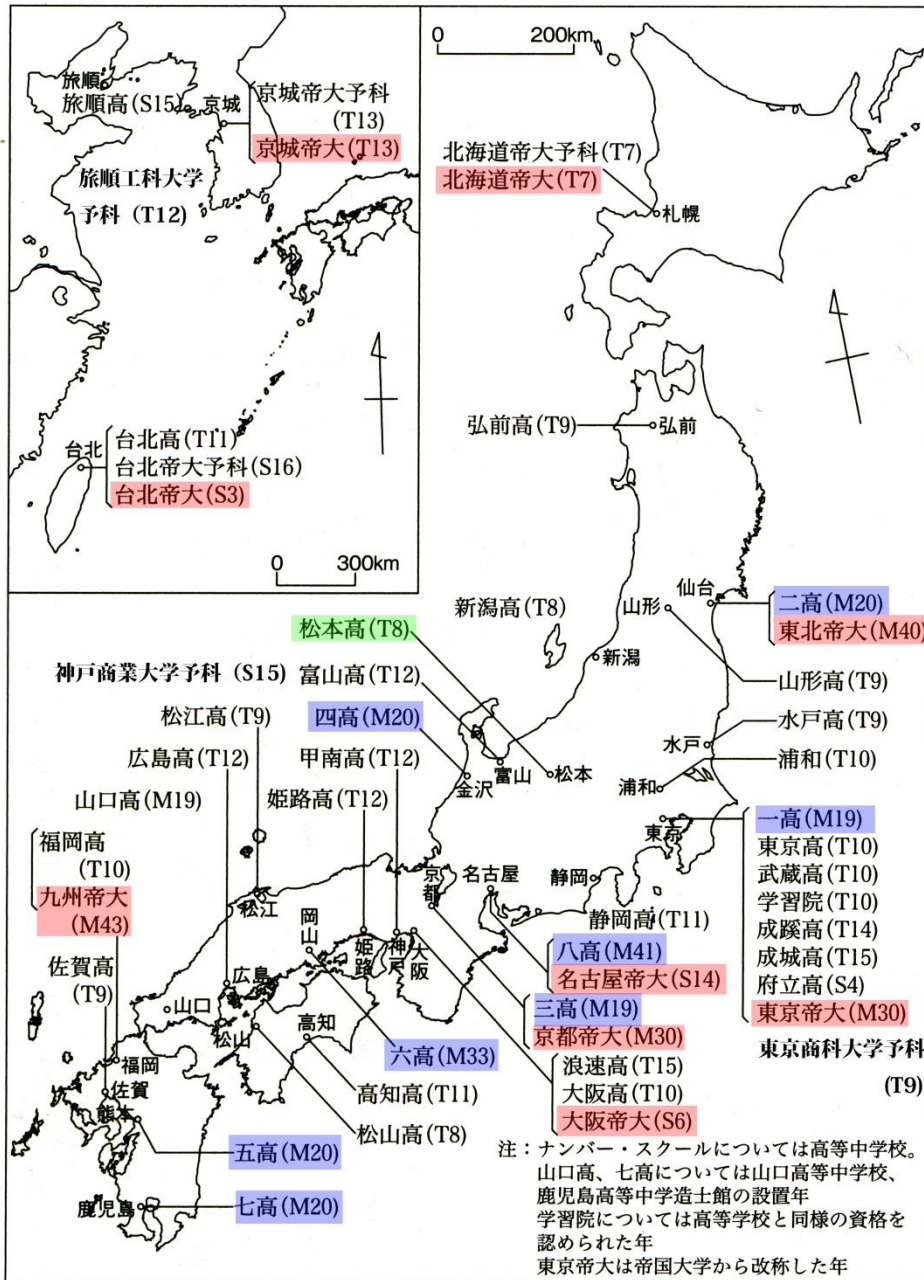


第一高等学校(明治22年建築)

バンカラ



帝国大学と旧制高等学校の配置



帝国大学 9校
 高等学校 41校

〈内訳〉
 ナンバースクール 8校
 (明治時代に設置)
 地名校 17校
 (主として大正時代に設置)
 七年制高校 10校
 (主として大正時代に設置)
 官立大学予科 6校

旧制高等学校 の校章



北大予



弘前高



二高



山形高



水戸高



浦和高



一高



東京高



学習院高



府立高



武蔵高



成蹊高



成城高



東商大予



新潟高



松本高



富山高



四高



静岡高



八高



三高



大阪高



浪速高



甲南高



神商大予



姫路高



松江高



六高



広島高



山口高



高知高



松山高



福岡高



佐賀高



五高



七高



台北高



台北大予



京城大予



旅順高



旅工大予

松本高等学校 校章



授業

文科の授業編成例（時／週）

大正8年～昭和16年

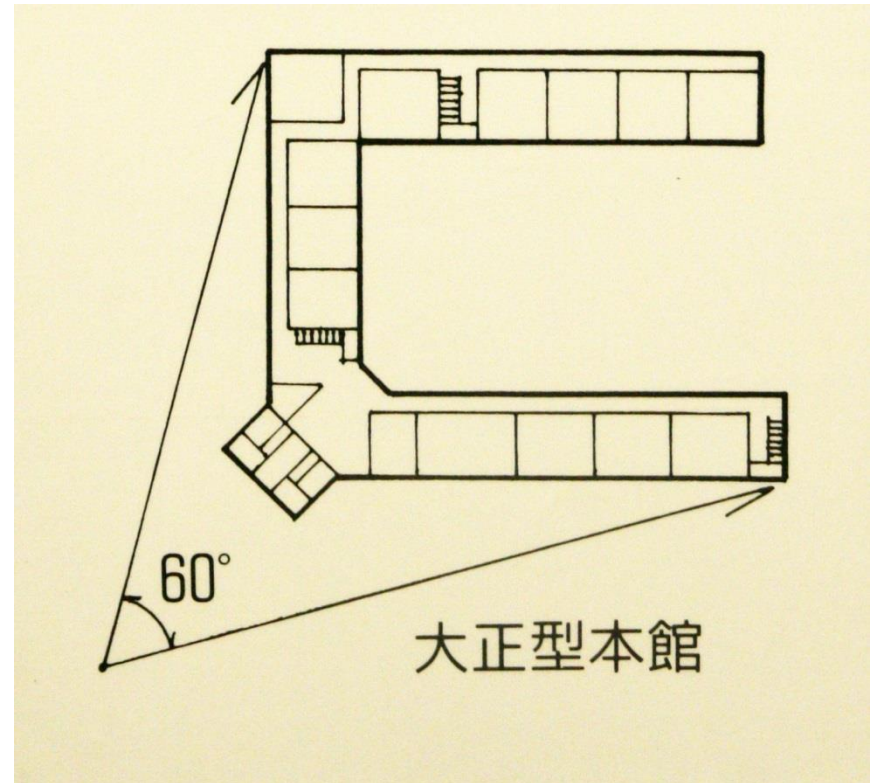
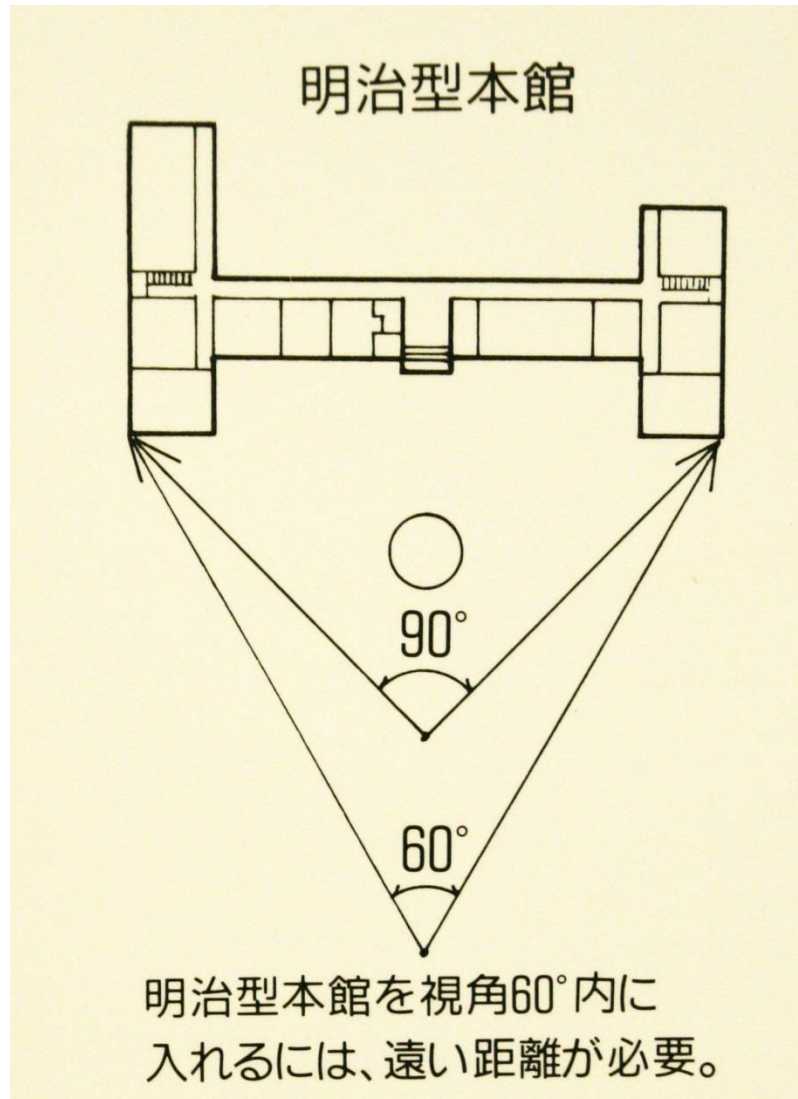
	一年	二年	三年	計
修身	1	1	1	3
国語・漢文	6	5	5	16
第一外国語	9	8	8	25
第二外国語	4	4	4	12
歴史	3	5	4	12
地理	2			2
哲学			3	3
心理・論理		2	2	4
法制・経済		2	2	4
数学	3			3
自然科学	2	3		5
体操	3	3	3	9
計	33	33	32	98

理科の授業編成例（時／週）

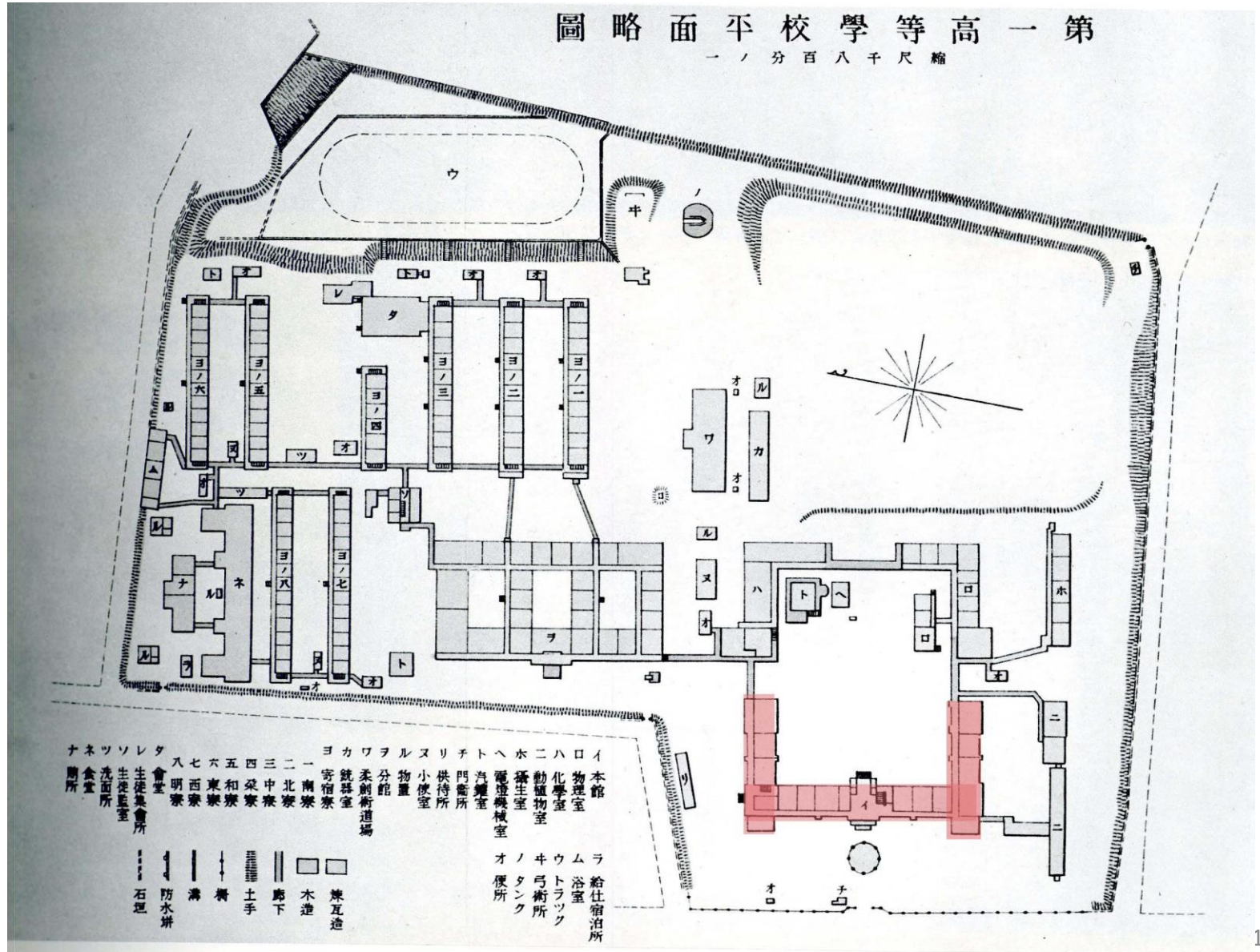
大正8年～昭和16年

	一年	二年	三年	計
修身	1	1	1	3
国語・漢文	4	2		6
第一外国語	8	8	6	22
第二外国語	4	4	4	12
数学	4	4	4(2) [†]	12(14) [†]
物理		3	5	8
化学		3	5	8
植物・動物	2	2	(4) [□]	4(8) [□]
鉱物・地質	2			2
心理		2		2
法制・経済	2			2
図学	2	2	(2) [†]	4(6) [†]
体操	3	3	3	9
計	32	34	32	98

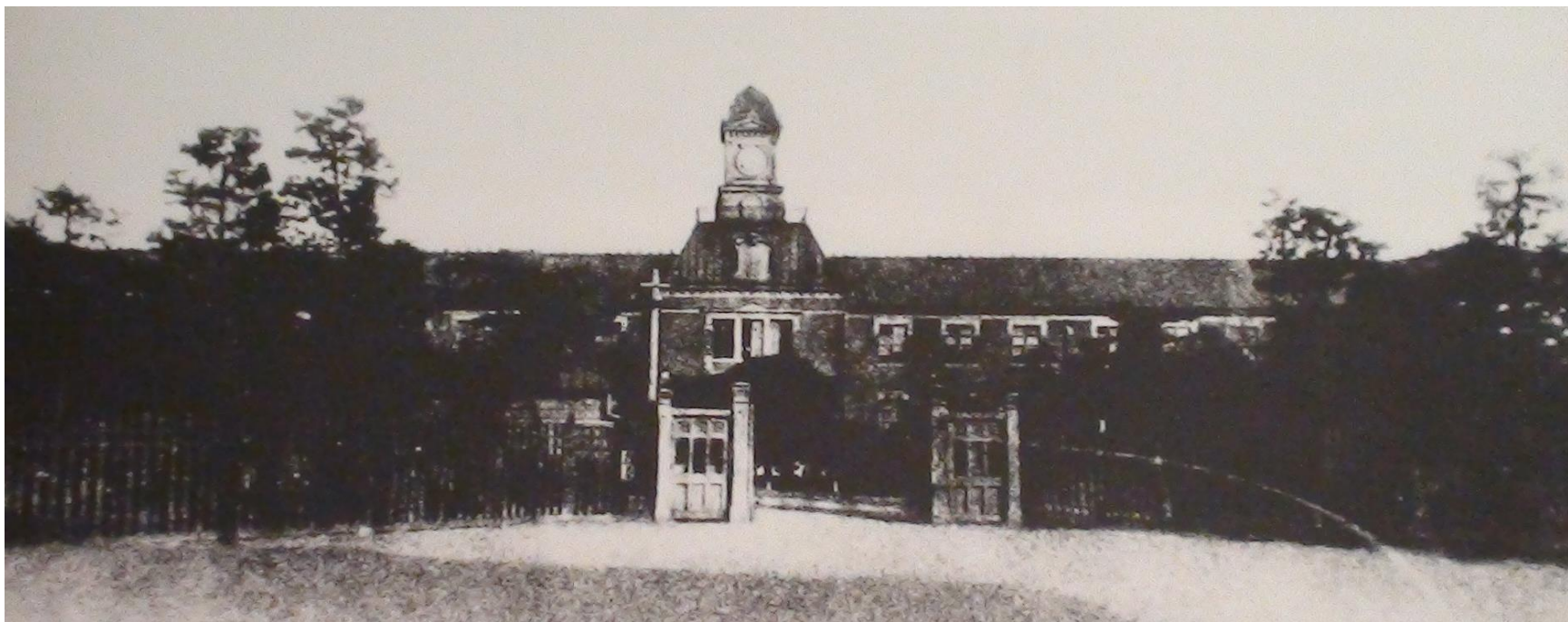
校舎の形の違い



第一高等学校建物配置図

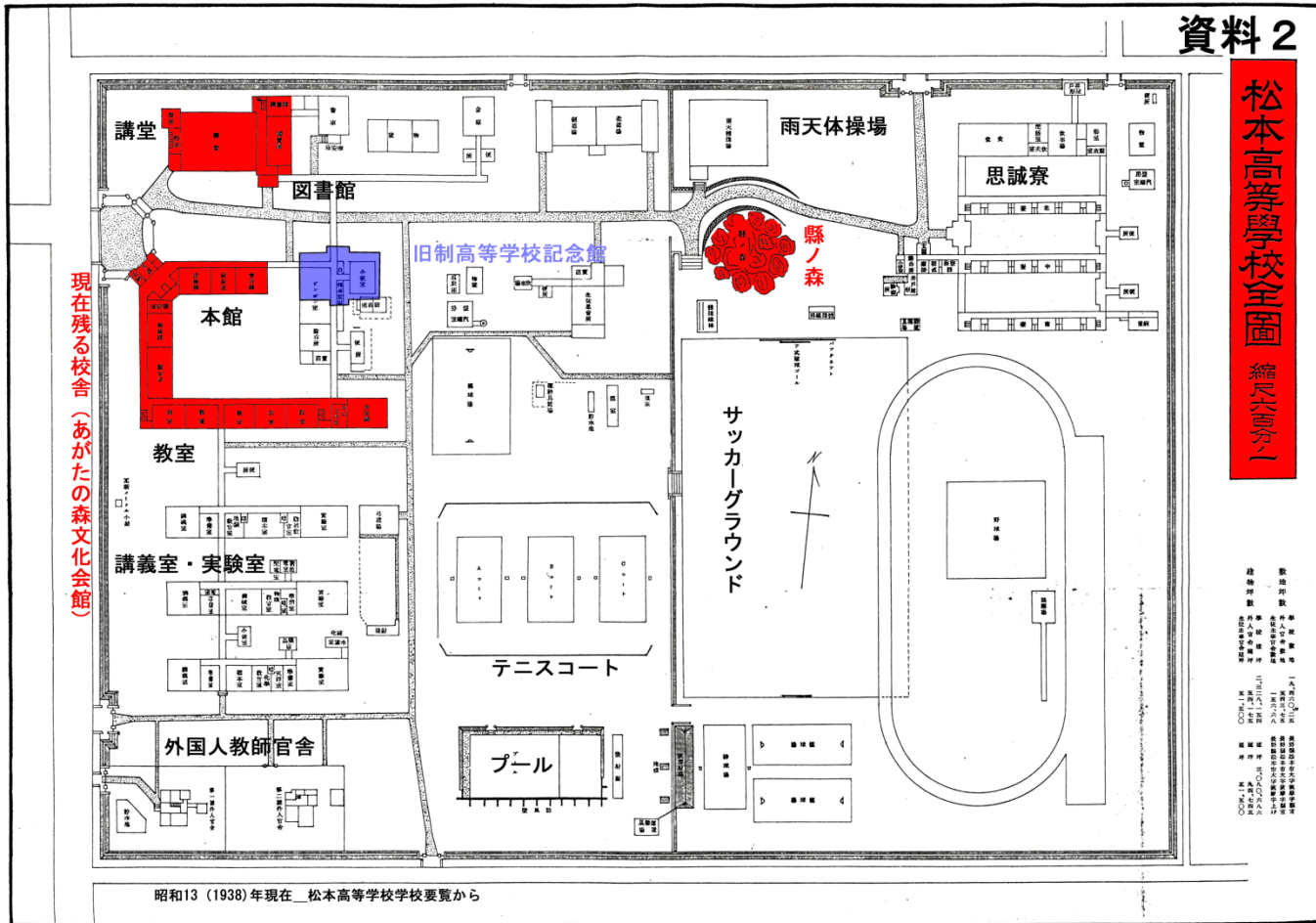


明治型本館 第一高等学校

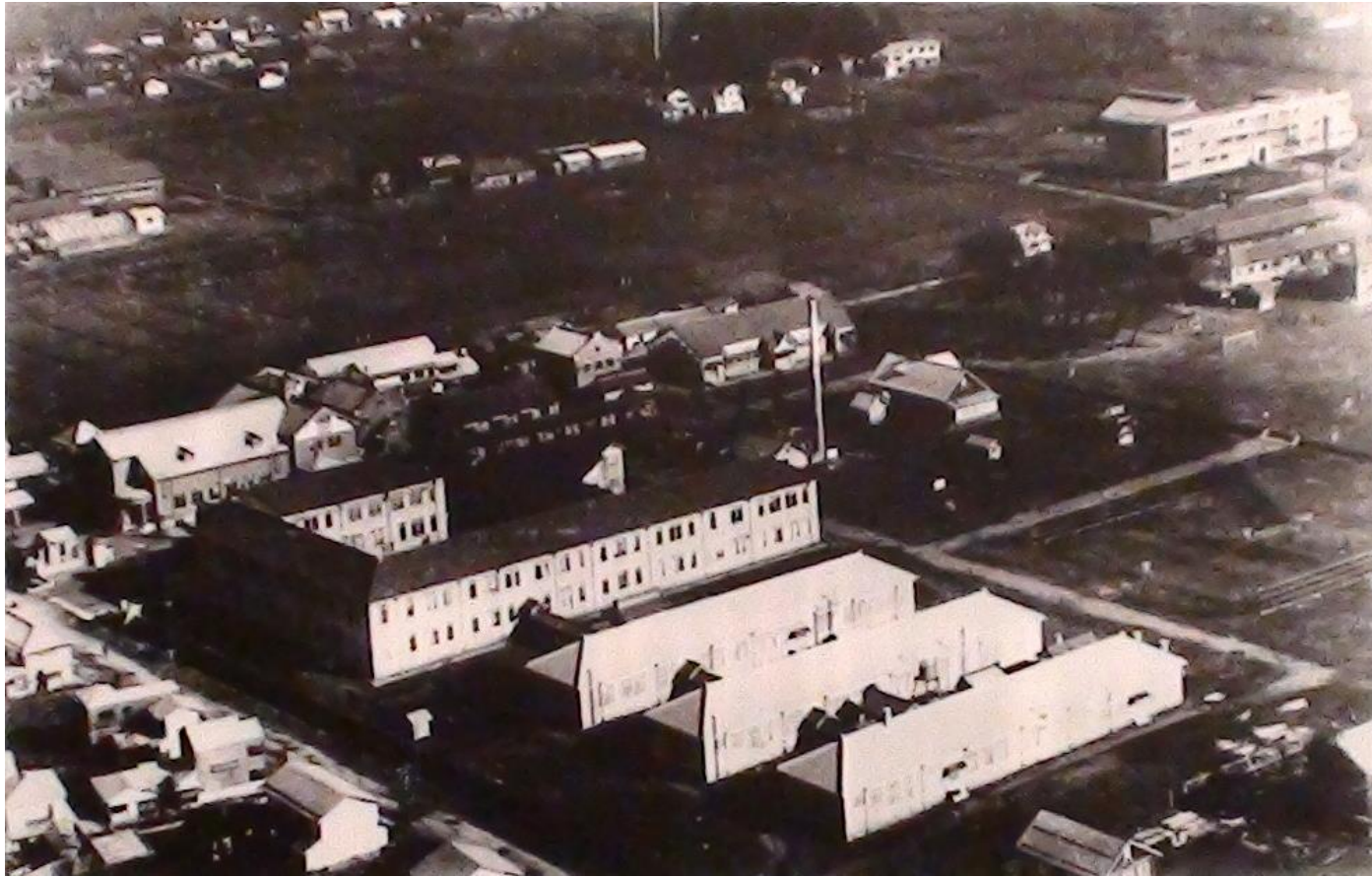


大正型本館

松本高等学校建物配置図



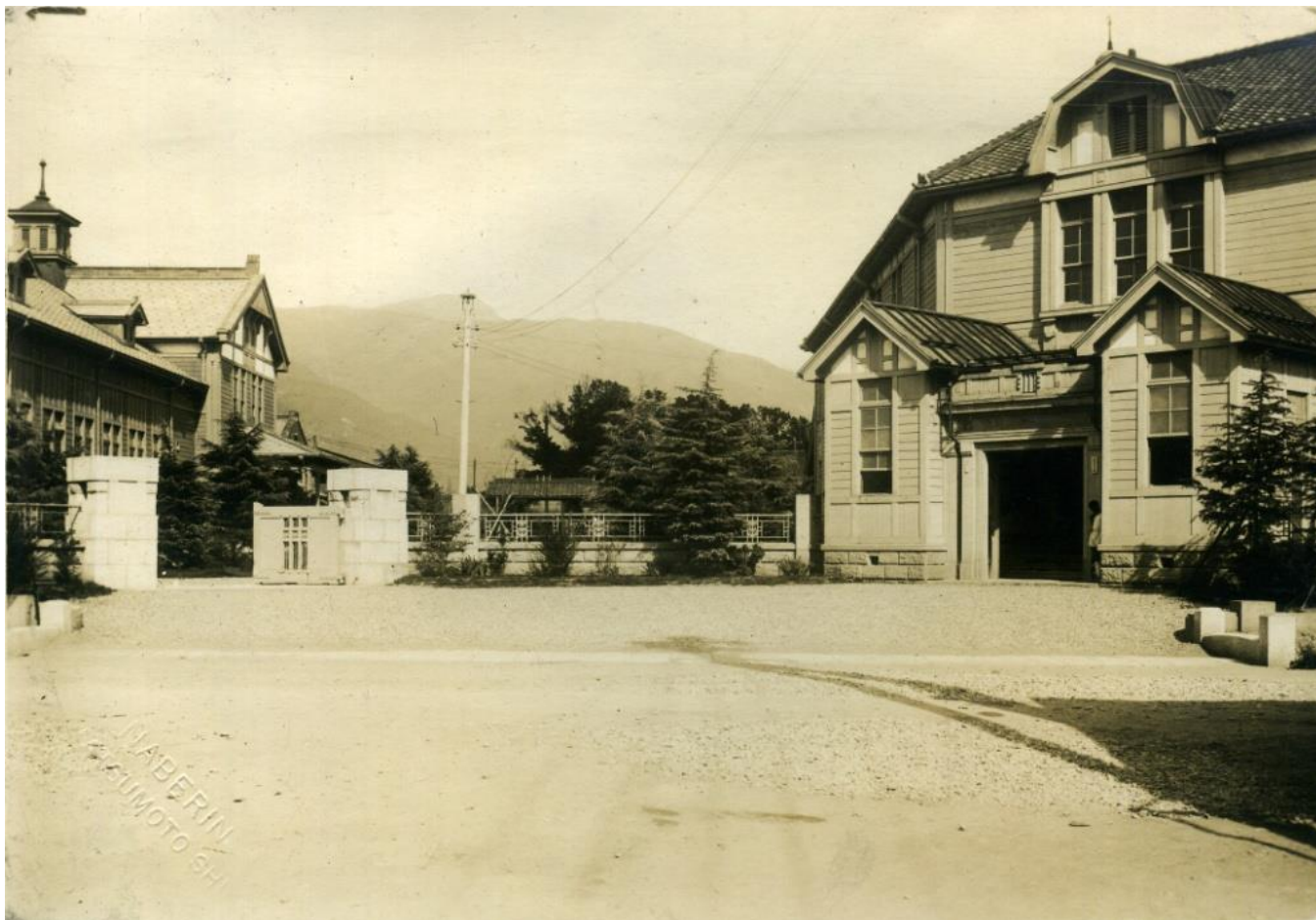
大正型本館 松本高等学校



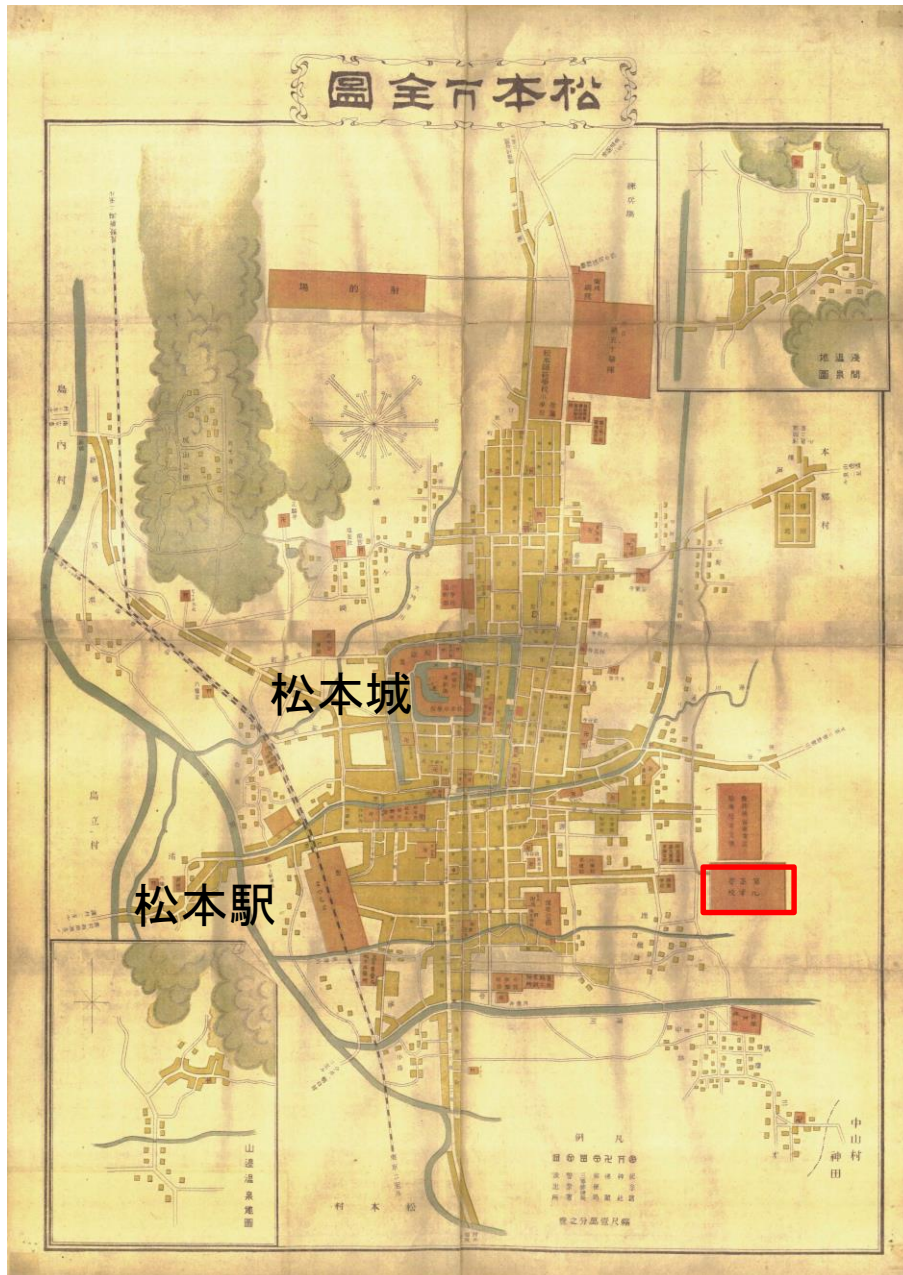
1 まとめ

- 旧制高等学校は、帝国大学への進学の特権を与えられた高等教育機関だった
→青春を満喫し、自由な人間形成の場となった
- 旧制高等学校は、明治時代に設立されたナンバーズクールや、大正8年以降に設立された地名校などを含め、全国に41校存在していた

2 松本高等学校



松本高等学校の 誘致



・誘致の目的

小里市長「地域の学生が勉強する機会」と「地方文化の向上」

→全国から集う学生がもたらす文化に期待

・明治32年以来の誘致運動

・地元負担は23万4千円

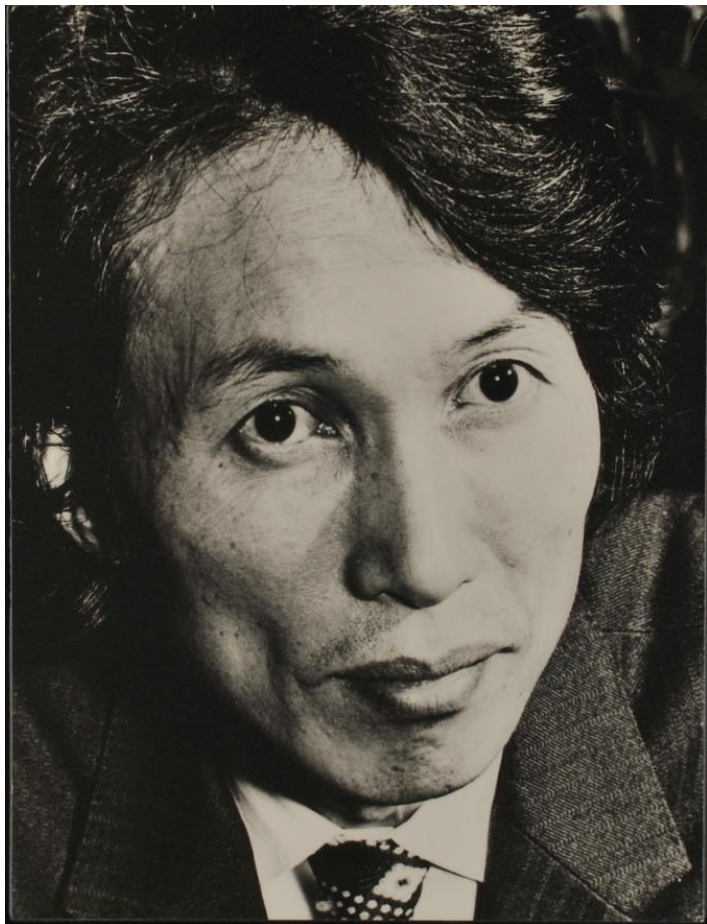
当時の市経常歳出予算2年分の費用をかけて行われた

松本市街地図(大正7年)

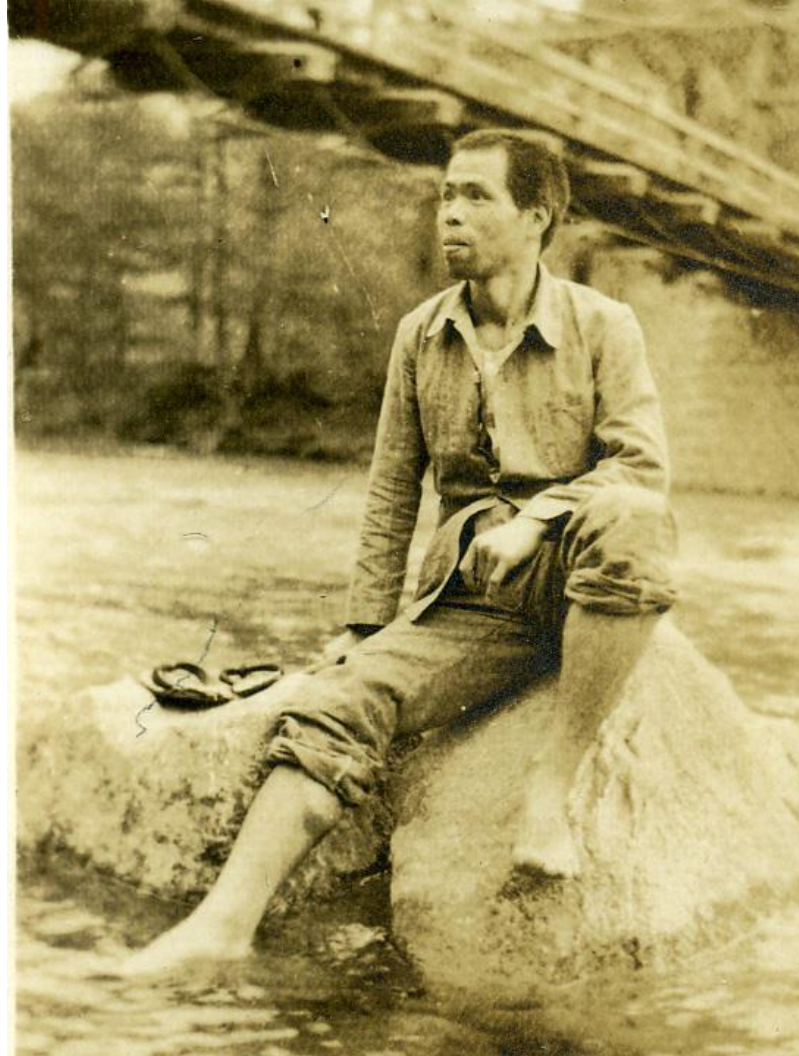
授業風景



熊井 啓(昭和24年卒) 望月市恵(大正11年卒)



蛭川 幸茂



僕等の物理学

斎藤宗吉(27回理乙)

恋人よ

この世に物理学とか言ふものがあることは
海のやうにも

空のやうにも 悲しいことだ

恋人よ

僕はこのなかに頭がよいのに

この物理学のおかげでもって あなたから
白痴のやうに思はれてしまった。

あなたがそんなに心配さうに 僕の顔をのぞきこむから
僕は昨日死んだつもりになって

生まれてから三十分とつづけたことの無い物理の勉強を
なんと六時間もやったのだ。

僕はこのなかに頭がよいし あなたの瞳も元気づけてくれたから
たとへノートが七十八頁あったとしても

参考書が二百四十三頁あったとしても

活字の数が十三萬八千六百五十六あったとしても
もういくら何だつてできるつもりでゐたのだったのだが……

恋人よ

僕が物理で満点をとる日こそ

世界の滅亡の日だと思つてくれ

僕等にはクーロンの法則だけあれば沢山だ

二人の愛は距離の二乗に反比例する

恋人よ

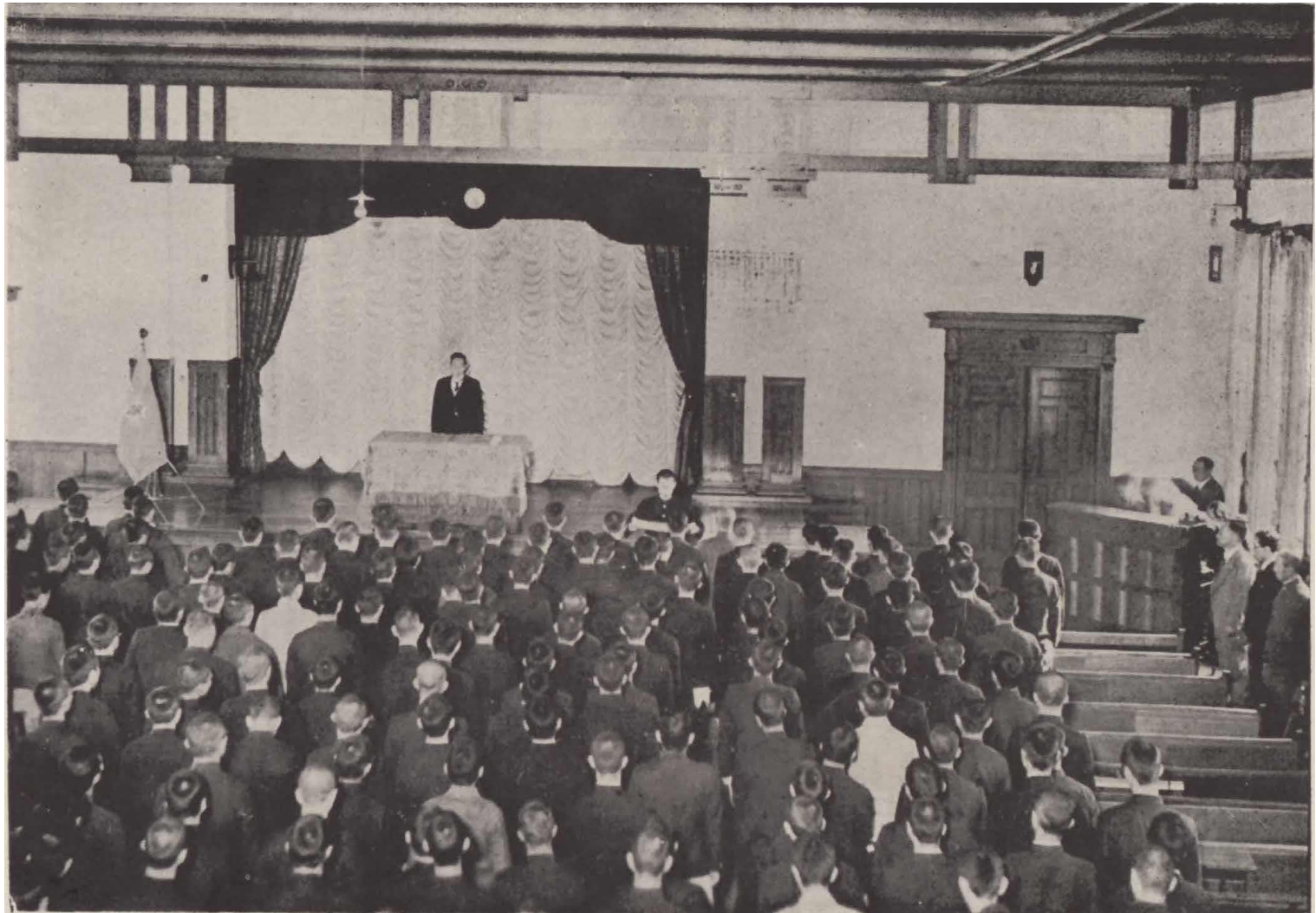
僕等はぴったりと抱き合はう！ (帝国芸術院授賞作品)

講堂



講堂にて 学徒出陣壮行式

昭和18年11月8日(文科生27名)





戦時下の松本高等学校



福元 猛寛 ～スミレの人



思誠寮

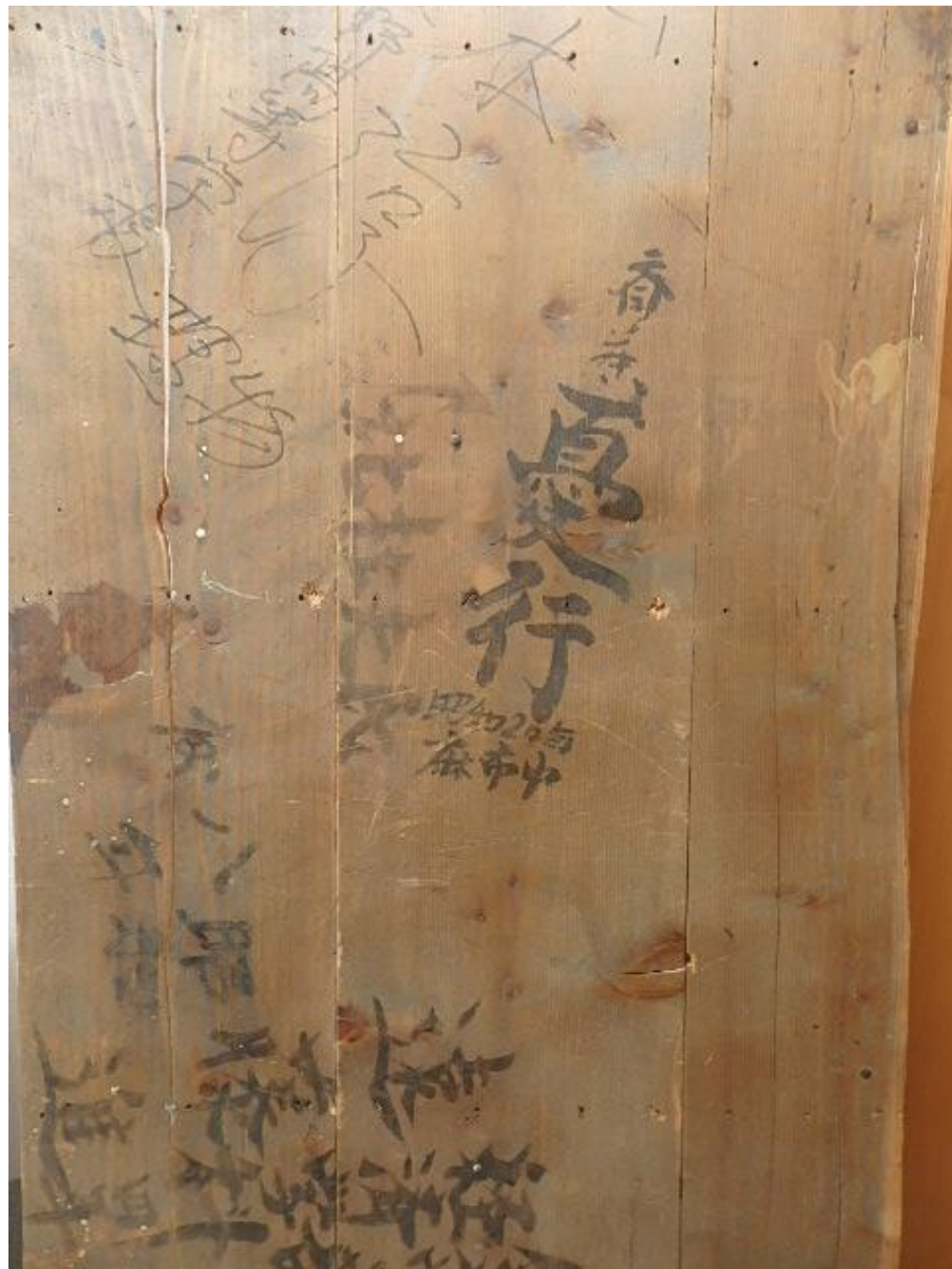


ストーム



復元寮室





寮 雨

月夜の晩に雨
が降る不思議



不衛生・不可解で弁明し難い習慣の中に寮雨があった。宇宙に尿するという気宇壮大な志気が為すとは詭弁か。

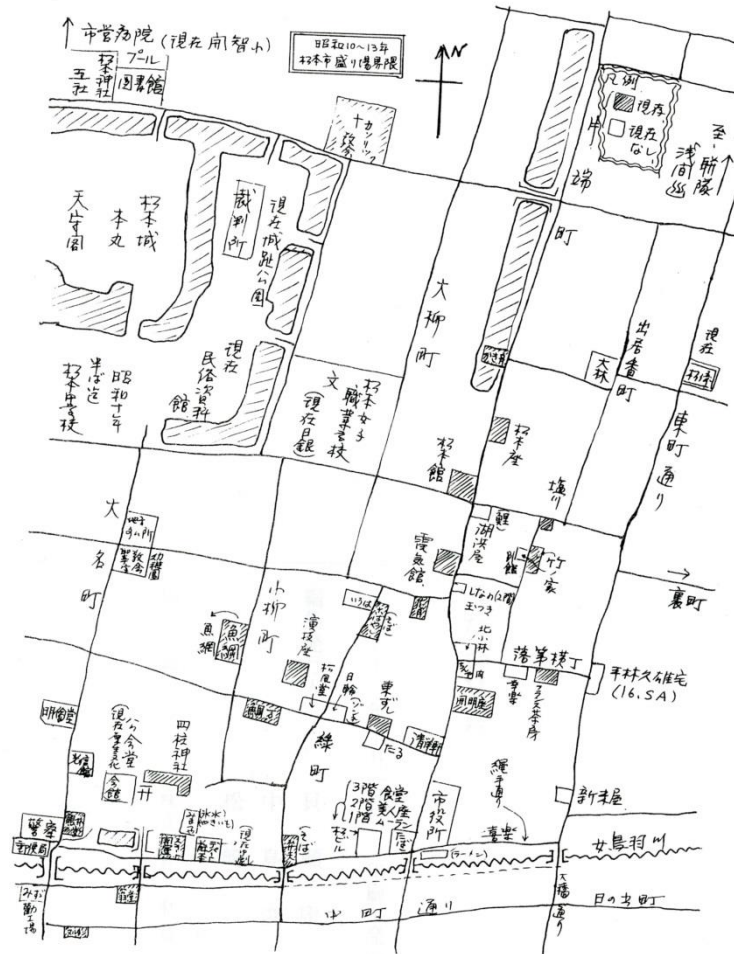


2 まとめ

- 誘致運動により、長野県に旧制高等学校が設立した
→松本のまちの新たなシンボルとなった。
- 松本高等学校でも、学生達はよく学び、青春を満喫し、自由な人間形成が行われていた
(※戦時中は制限されていた)

3 松高生と町

昭和10～13年 松本市盛り場かいわい





福元 猛寛作のクラスアルバムから(昭和17年9月卒業)

翁堂



半玉さん





大雪の町角にて

大雪の晩、喫茶店兼カフェの「日輪」
(ゾンネ)は閉っていた。裏町へでも
行くか。試験は近いし、憂鬱だんね。

清洋軒



映画館



演伎座



電気館

書店



明倫堂



鶴林堂

町の中央を流れる
女鳥羽川の右岸の
繩手は情緒あふれ
る通りであった。



夜の繩手通り



松本一の食堂

当時、松本一のビ
ルの藤本デパート
(上の写真)の食堂
にも可憐なメッチ
ェンが居て、人気
があった。



縄手の夜店

女鳥羽川に沿った
縄手通りは、夜店
が賑わう気持ちのい
いぶらつき散歩道。
夜の彷徨の出発点。

縄手の店「ムーラン」

縄手通りの「ムーラン」は、
気風のいいマダムとマス
ターが居て、気軽に飲め
る洋風スタンドだった。



3 まとめ

- 文化的な底上げ

→全国から学生が来て、松本市で生活したり、町の人々と関わったりし、異文化・都市文化を松本にもたらした

→書店や映画館に松高生が足しげくかよっていた

（鶴林堂では、松本高等学校が出来たことにより、本の内容が充実した）

→まちを楽しむ松高生を松本の人々も快く受け入れていた

4 松高が生んだ人材

小谷隆一さんを例に



- 大正13(1924)年 京都生まれ
- 昭和12(1937)年 旧制京都第二商業学校入学。山に魅せられ山岳部に。
- 昭和19(1944)年 旧制松本高等学校入学(26回文1)。山岳部。同期に辻邦生、一期後輩に斎藤宗吉(北杜夫)。
- 昭和22(1947)年 東京帝国大学法学部入学。山岳部。
- 昭和40(1965)年 ディラン峰に挑む
- 平成15(2003)年 小谷コレクション(山岳図書約8,000点)を信州大学に寄贈。

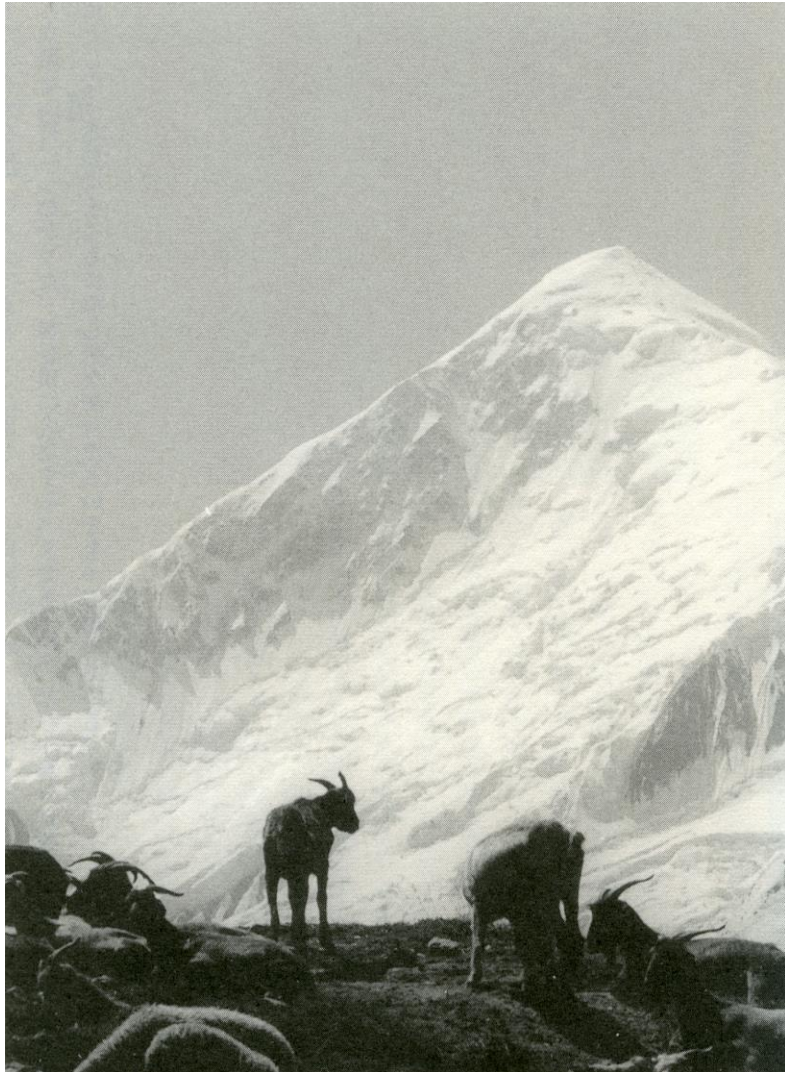
小谷展図録より

松本高等学校 山岳部



カラコルム・ディラン山遠征

—1965年



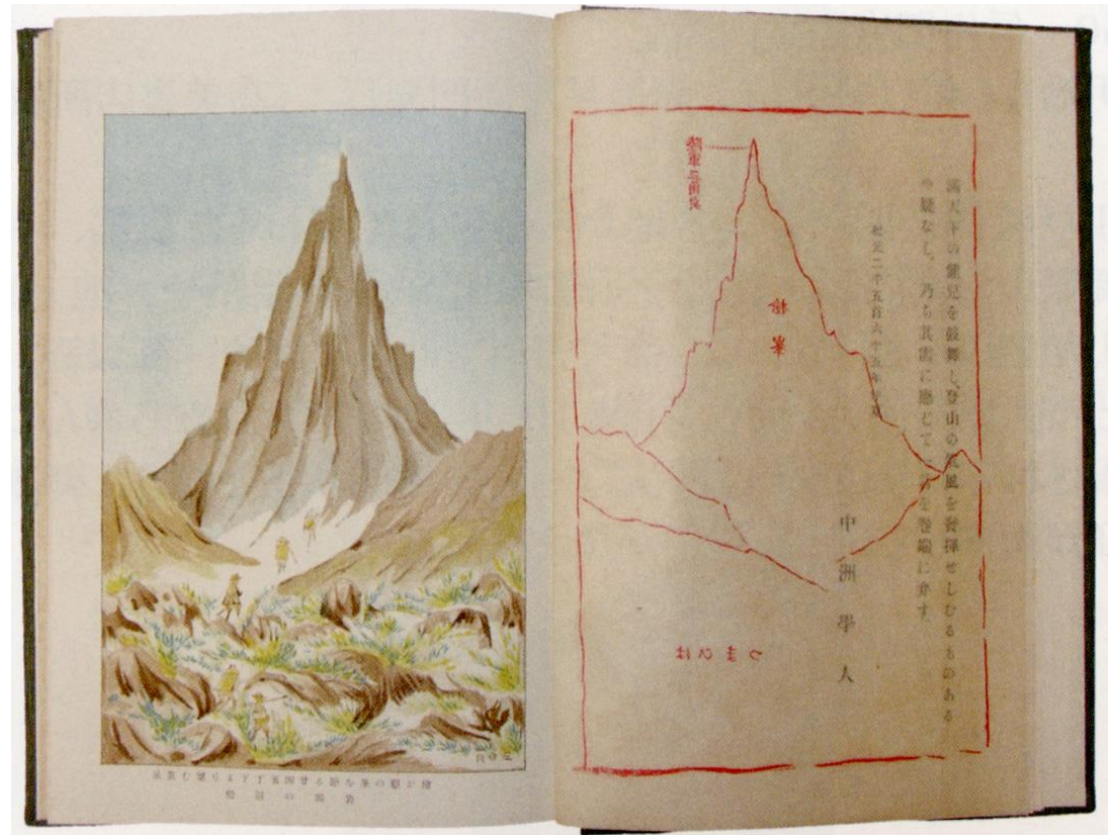
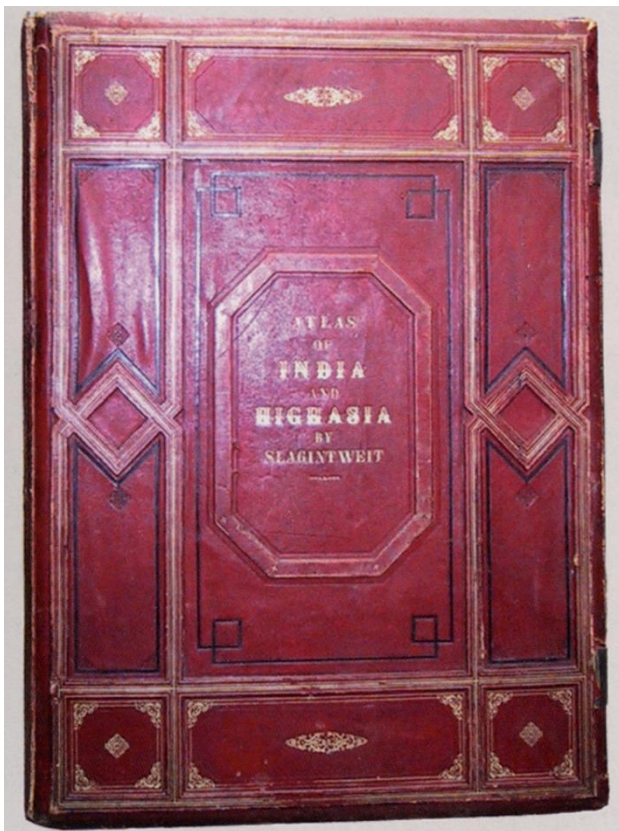
『山なみ帖 その後』より

松本への贈り物 「小谷コレクション」

山岳図書8,000点を、信州大学に寄贈(小林義正「高嶺文庫」が母体)

1850-54年実施のインド・ヒマラヤ地方調査報告書

『槍ヶ嶽の美観』明治39(1906)年 高美書店発行



各界で活躍した松高卒業生

北杜夫※本名：斎藤宗吉（作家）

辻邦生（作家）

臼井吉見（文芸評論家）

古田晁（筑摩書房創設者）

熊井啓（映画監督）

唐木順三（哲学者）

中島健蔵（フランス文学者）

柚木沙弥郎（染色工芸作家）

など

松本市で活躍した卒業生

- 文学 北沢喜代治(作家)
- 行政 筒井直久(松本市長)
- 教育 望月市恵(信州大学教授)
松崎一(信州大学教授)
赤羽太郎(信州大学学長)
- 医療 横沢幸(丸の内病院院長)
- 民俗 池上 隆祐(民俗学者)

など

4 まとめ

- 小谷隆一について
 - 松高時代は山岳部であり、松高以来の友人である北杜夫とディラン山へ遠征
 - 信州大学に小谷文庫を寄贈
- 松本高等学校出身者は、さまざまな分野で活躍した
 - 松本市で活躍する出身者も

5 おわりに...

あがたの森公園 関係者・市民による校舎保存運動の成果



松本高等学校が、 地域にもたらしたものは？

- 文化的な底上げ
松本のまちには新しいもの・素晴らしいものを受け入れる文化が根付いている。
- あがたの森に現存する校舎・講堂
保存しながら活用する先進的な取り組み

→旧開智学校と共に、学都のシンボル